

# そよかぜ

毎日新聞西部社会事業団だより

第121号 2025年3月

発行所 〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13-1  
 公益財団法人 毎日新聞西部社会事業団  
 発行人 尾崎 昌則  
 TEL 093(551)6675 FAX 093(541)8009  
 E-Mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp  
 http://www.mainichiseibu-shakaijigyo.biz/



## 募金総額は952万円

毎日新聞社と毎日新聞西部社会事業団が呼びかけた2024年度の歳末たすけあい募金「愛の義援金」の結果がまとまった。一般募金（社会福祉寄金）をはじめ能登地震救援金、小児がん征圧募金などの指定寄付を合わせて771件、951万99472円が寄せられ、前年度を約25万円上回った。

社会福祉寄金は、児童養護施設や母子施設、障害児施設で生活している子どもたちへの新入学・卒業プレゼントや福祉諸団体への助成金として活用、指定寄付は関係機関や団体に贈る。

「愛の義援金」は12月1〜28日の約1か月間募集。これまでに何らかの募金をいただいた方やチャリティー展で作品をご購入いただいた方々などにチラシや振込用紙などを郵送、協力をお願いした。

募金は、さまざまな社会福祉事業の資金となる社会福祉寄金のほか、用途を指定した海外救援金▽小児がん征圧募金▽東日本大震災救援金▽毎日希望奨学金▽能登地震救援金も並行して受け付け。11月下旬、毎日新聞の各地域面に社告を掲載、新聞広告やホームページなどで

も協力を呼びかけ、期間中に多くの善意が寄せられた。

全募金を集計した結果、件数は前年度より95件、募金額も約25万円増加した。このうち社会福祉寄金は472件で72件増加、額は約543万円増、約112万円増えた。海外救援金は21件減少、額は約116万円減った。小児がん征圧募金は、件数は変わらなかったものの、額が約20万円減少した。

また、東日本大震災救援金は1件・20万円、希望奨学金は件数、金額ともに減少した。

寄付項目	24年度		23年度		前年度比	
	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額
一般募金（社会福祉寄金）	472	5,434,283	400	4,307,930	72	1,126,353
海外救援金	75	673,170	96	1,833,095	▲21	▲1,159,925
小児がん征圧募金	71	602,660	71	800,936	±0	▲198,276
東日本大震災救援金	1	200,000	2	307,000	▲1	▲107,000
希望奨学金	100	1,520,153	107	2,024,741	▲7	▲504,588
能登地震救援金	52	1,089,206	0	0	52	1,089,206
合計	771	9,519,472	676	9,273,702	95	245,770



郵便振替や現金書留などで多くの皆さんから募金が寄せられた

## 新入学・卒業祝い品プレゼント 61施設の428人に

当事業団では長年、歳末募金をもとに児童養護施設や母子施設の子どもたちへの新入学・卒業祝い品プレゼント事業を行っており、今年度も福岡、山口両県の66施設を対象に調査用紙を配布。今春小学校に入学予定の子どもと中学・高校を卒業予定の生徒たちの人数や希望するプレゼントを調べてもらった。

その結果、対象者は61施設の428人であることが分かり、新入学児童にはランドセルやリュックサック（水筒付き）▽手提げ（筆箱付き）▽雨具セット▽図書カードのいずれか希望の品を、中学・高校を卒業予定の子どもたちには目覚し時計か図書カードを贈った。

このほか、歳末募金の第二次配分として、山口県の共同募金会▽福岡県の交通遺児を支える会▽九州盲導犬協会▽福岡、北九州のいのちの電話▽北九州あゆみの会▽障害福祉ボランティア協会▽ホームレス支援の「抱樸」――の福祉8団体に前年度と同規模の活動助成金を贈る。

# チャリティー即売展 売上前年を上回る

全国で活躍する一流作家の皆さんのご協力で実施している毎日新聞西部社会事業団のチャリティー「全国寄贈書画・陶工芸品即売展」は、2024年12月第1〜3週の土・日曜に北九州（小倉）・山口・福岡の3会場で順次開催。常連の方を中心に美術ファンが訪れ、3会場の売り上げ合計は、前年を約5%上回る約1千46万円で、1千万円の大台を回復した。

今回は、全国の洋画家、日本画家、書家、名刹の高僧、陶芸家、工芸家、芸能人ら約500人から約900展の作品が寄せられた。

これを12月6〜7日の北九州展（北九州市小倉北区の小倉井筒屋パステルホール）を皮切りに、山口展（14〜15日、山口市の山口井筒屋催場）、福岡展（20〜22日、福岡市博多区の福岡ファッションビル）の3会場に振り分け、前年度までの寄贈作品と合わせて展示・即売した。

各会場、一部の作品は入札方式で販売、2日目に集計して落札者を決めた。

より多くの方に来場してもらうため、ポスターやチラシの作成・配布のほか▽毎日新聞紙上で特集面を掲載▽即売展開催直前には地方版での紹介記事▽事業団ホームページ（HP）での作品紹介などを実施。さらに、毎日新聞読者以外へも即売展の認知を広めるために、各会場での独自チラシを作成・配布▽テレビ局（RKB）によるニュース放映などの紹介を行った。しかし、売上は前年を上回ったものの、昨年4月からの宅急便の値上げや10月からの郵便代の値上げ、原材料の高騰による額縁の価格改定

お気に入りの作品を求める来場者（北九州会場で）



など、あらゆるところで経費の値上げが相次ぎ、助成金などの原資となる益金は前年比同額程度となる見込みだ。来年度は収支管理をより徹底させたい。

これまで通り、益金は

児童福祉や障害者福祉、高齢者福祉、交通遺児支援、ホームレス自立支援などの活動に取り組み団体などへの助成金など、さまざまな福祉事業に活用する。

## 毎日社会福祉顕彰を募集

2025年度（第55回）「毎日社会福祉顕彰」を募集します。全国の社会福祉関係の個人や団体の中から優れた業績をあげている3件を選び表彰します。

### ◇対象

〈学術〉社会福祉の向上に顕著な影響を与える研究をした

〈技術〉児童、高齢者、心身障害者などの分野で独創的なスキル、プロセスで効果をあげた

〈創意〉施設、機器などの改善、充実、または活動実務について創意工夫や新技術導入で功績をあげた

〈奉仕〉長年にわたり国際、地域福祉で奉仕活動をし、将来も継続する強い意志を持つ

〈勤勉〉社会福祉施設に30年以上勤務し、顕著な成果をあげた

〈その他〉新しい分野を開き、時代のニーズに相應る福祉活動をしている個人または団体

◇推薦方法と推薦書送付先

### 毎日新聞西部社会事業団のホームページ（表面の二次元コード）からダウンロードした推薦用紙に必要事項を記入し、5月31日までに左記あてにご送付ください。

各都道府県社会福祉協議会でも推薦用紙を配布しています。自薦は無効。〒802-18651（住所不変）毎日新聞西部社会事業団（電話093・551・6675）

### ◇発表と表彰

9月中旬の毎日新聞紙上で発表。受賞者に賞金300万円（1件につき100万円）と顕彰盾を贈呈します。10月に東京都内で表彰式を行う予定です。

主催 毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団  
後援 厚生労働省、全国社会福祉協議会